

第6次白岡市総合振興計画後期基本計画策定に係る
市民団体等意識調査結果報告書

1. 調査実施概要

調査期間	令和7年9月4日～9月30日
調査対象	市内で活動されているNPOや市民団体
調査方法	チラシ(二次元コード付)を配布し、オンラインで回答
有効回答数	10団体

(調査協力依頼チラシ)



回答目安
約5分

市民団体等意識調査 ご協力をお願い

白岡市では、現在、まちづくりの指針となる「第6次白岡市総合振興計画後期基本計画」の策定作業を進めております。

市内で活動されているNPOや市民団体の皆様に、白岡市について日頃感じていることなどをお伺いし、計画をつくる際の参考とさせていただきますたく、アンケートへのご協力をお願いします。

市民と共に、より良いまちづくりを進めていくために、皆様のご意見をお待ちしております。

回答期限 9月30日(火)



URL

<https://survey.zohopublic.com/zs/KpMULf>

二次元コード

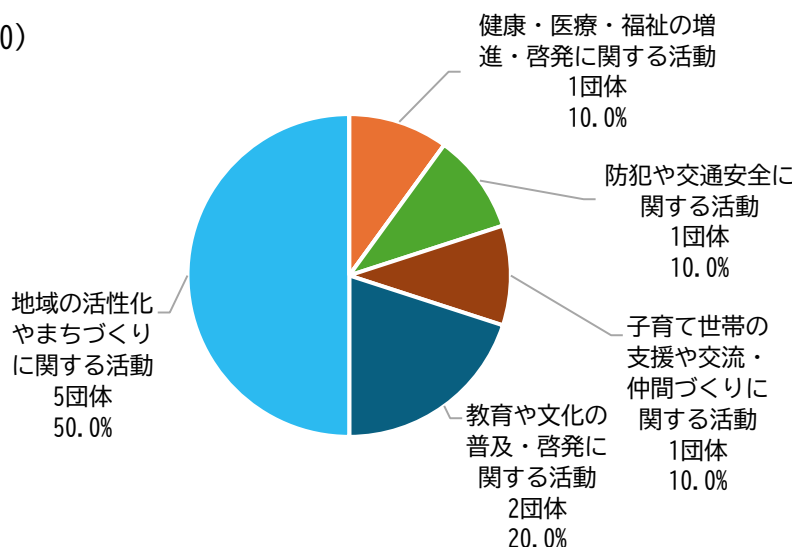


白岡市
経営企画部
企画政策課
☎ 0480-92-1111

2. 調査結果

Q1 貴団体の主な活動内容をお答えください。(〇は1つ)

(n=10)

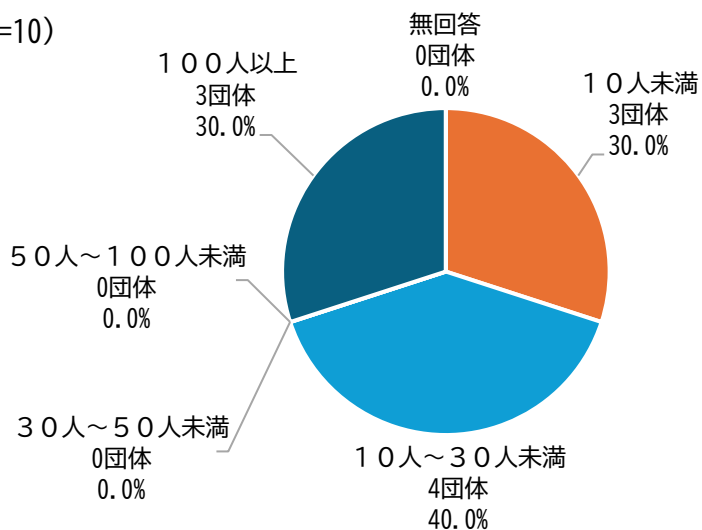


「地域の活性化やまちづくりに関する活動」(50.0%)が最も多く、次いで「教育や文化の普及・啓発に関する活動」(20.0%)となっています。

(注) この他の選択肢「自然環境の保全・啓発に関する活動」「農業・商工業の振興に関する活動」「国際交流や人権啓発に関する活動」「その他」は回答なし。

Q2 貴団体の会員数をお答えください。(〇は1つ)

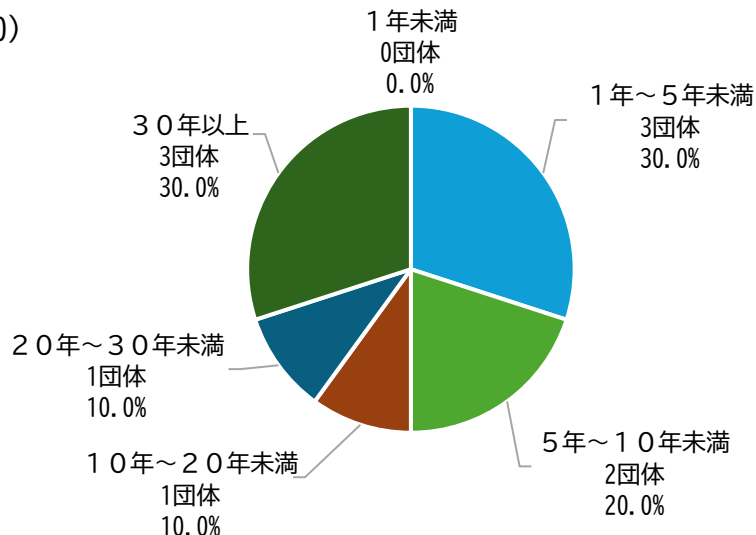
(n=10)



「10～30人未満」(40.0%)が最も多く、次いで「10人未満」と「100人以上」がそれぞれ30.0%となっています。

Q3 貴団体の設立してからの年数をお答えください。(〇は1つ)

(n=10)



「1年～5年未満」と「30年以上」がそれぞれ30.0%で最も多く、次いで「5～10年未満」が20.0%となっています。

Q4 白岡市で活動していて良いと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

「活動の紹介や情報発信をする機会がある」(80.0%)が最も多く、次いで「活動する場所が確保しやすい」(50.0%)、「活動に参加・応援してくれる人がある」(40.0%)となっています。

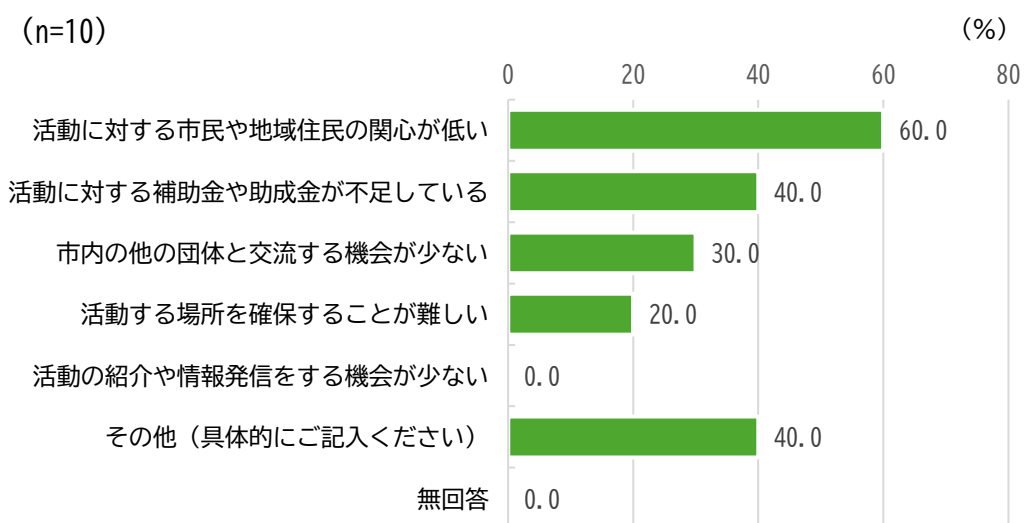
その他には、「イベント来場者(お客様)が穏やかで優しい」などが挙げられています。



Q5 白岡市で活動していて、改善が必要だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

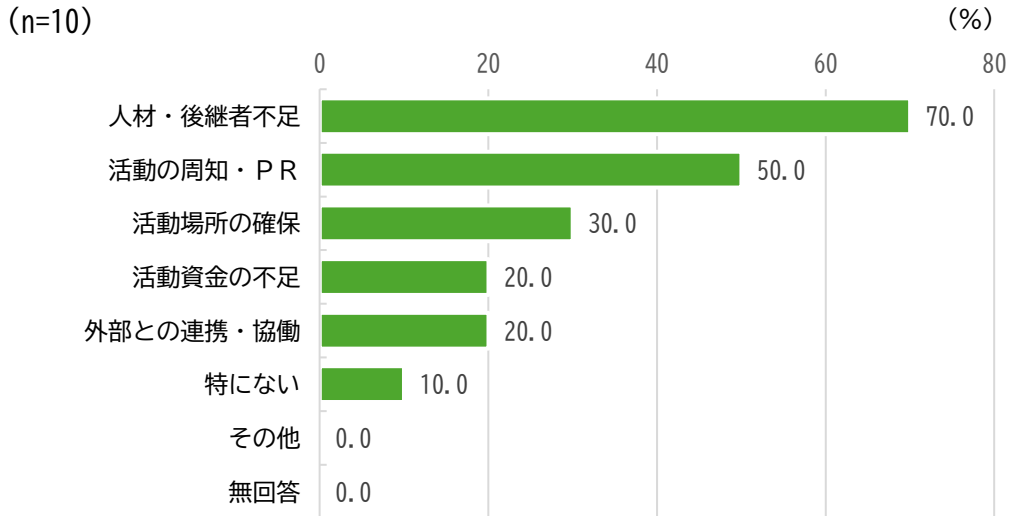
「活動に対する市民や地域住民の関心が低い」(60.0%)が最も多く、次いで「活動に対する補助金や助成金が不足している」(40.0%)、「市内の他の団体と交流する機会が少ない」(30.0%)となっています。

その他には、「お客様として参加されることはあっても一緒にイベントなど作り上げる一員になる人が少ない」、「活動拠点となっている施設が老朽しているので改善して欲しい。その場合には要望を聞いて欲しい。」、「高齢化」などが挙げられています。



Q6 貴団体の活動上の課題にはどのようなものがありますか。(〇はいくつでも)

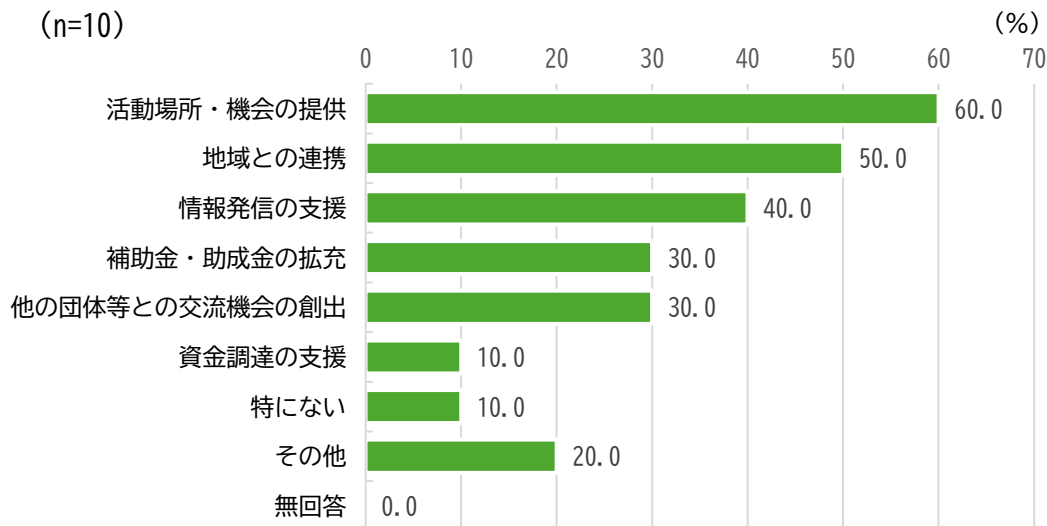
「人材・後継者不足」(70.0%)が最も多く、次いで「活動の周知・PR」(50.0%)、「活動場所の確保」(30.0%)となっています。



Q7 市に期待する支援策はありますか。(〇はいくつでも)

「活動場所・機会の提供」(60.0%)が最も多く、次いで「地域との連携」(50.0%)、「情報発信の支援」(40.0%)となっています。

その他には、「活動拠点の施設の整備」や「市として市民団体とどう関わるか明確にして欲しい」などが挙げられています。



Q8 白岡市では、市民と行政との協働のまちづくりを推進しています。協働のまちづくりを進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

「地域のリーダーやまちづくりの担い手を育成すること」(70.0%)が最も多く、次いで「時間・場所・内容などを工夫し、まちづくりへの参加の多様な機会を確保すること」が50.0%となっています。

その他には、「市役所側の街づくりをしている団体への参加」などが挙げられています。



Q9 白岡市のまちづくりについて、ご意見やアイデアがありましたら、ご記入ください。

4団体から次のような意見がありました。

- ・エリアの限定的な活動が目立つので、エリアや年代を超えた団体間の交流や協力体制がほしい。市内の団体でつくる交流会グループなど地域振興課の補助金をいただいているグループなどもう少し交流をもつ機会があれば良いと思う。また、自団体だけでなく他団体の活動に興味をもつ環境づくりや自団体の活動のみならず他団体への配慮や興味をもっともってほしいと思う。
 - ・人が集えるシンボリックなコミュニティセンターを市内の便の良い場所に設けてくれると面白いと思います。例)宮代町の進修館のような。
 - ・高齢化で長く歩くことが難しくなり、参加場所への移動が困難。タクシーを頻繁に利用も難しいです。良い方法はありませんか。
 - ・都心へのアクセスもよく、自然も多い白岡をもっとPRし、白岡という街を知ってもらい、若い世代の移住者をこれからも増やしていきたい!畑や森などの自然と人がつながり、育てる・集う・分かちあう体験を通して、誰もが心地よく暮らせるまちを目指すために、
 - *体験型農園の設置:市内の遊休地を活用し、市民や都内から農業体験できる場+自然交流拠点のアクセス強化(交通・案内)で提供
 - *地元産品のマルシェ開催:地元果実のブランドPRの強化、加工品開発地元農産物を販売するマルシェを定期的で開催。
- 上記内容を市と市民団体とタッグを組み合わせながら、進めていけたら、幸せです。